



民主党兵庫県連男女共同参画・女性活動支援委員会主催

## パパさん(ママさんも)シンポジウムが開催されました



2011年8月20日(土)、男女共同参画・女性活動支援委員会主催の「**パパさん(ママさんも)シンポジウム**」が開催された。出席者は、委員会メンバーのほか、連合兵庫(今回は、基幹労連が中心)、兵庫県、神戸市と多岐にわたって参加いただいた。(＊川原田は事務局長を務めています)

テーマとして、**仕事と家庭の両立があるが、特に子育てを中心**として、参加者全員から意見を聞く形式をとった。

連合兵庫側のメンバーも、それぞれの仕事の内容や居住地の事情、ご両親に協力が見込めるかどうか、など、各家庭によって状況が異なり、また、個々によって考え方も様々であることが、17名の参加者からのお話からも伺えた。



### 連合側参加者からの要望・意見

- 保育所への入所が困難**な問題は、育児休暇中で、これから復帰しようとしている人にとってはもちろん、現在、就労しておらず、**働きたい方々にとっても切実**な課題であること
- 学童保育の受け入れ時間の時間延長や土日、また、夏休み中の対応**についての要望
- 男性の育児休暇、短時間勤務の取得**について(職場理解のための制度の浸透)
- 中学校給食の導入**についての要望(給食の導入、弁当販売の柔軟性)
- 学校給食を中心とした、子どもへの食育の必要性**について(子ども自身が弁当を作る、など)
- 学校施設の地域間格差**について(耐震化・老朽性など)
- 子ども向け施設の地域間格差**について(図書館・プールなどの子ども向け施設)
- 子育てに係る諸費用のこと(医療費、保育費、学費)**や子ども手当についての諸意見(1000万以上の高額所得者には不要では。)
- 子どもの救急医療**について(診療所の終了から夜間救急の始まりの谷間の時間)
- 病児保育**についての要望(子どもが病気をした時、)
- 子どもとの時間**がなかなかとれないこと(仕事の多忙、時間の擦れ違い)
- 夫婦の会話**の時間がなかなかとれないこと
- 子どもに関する諸手続き**に、その都度、役所の証明が必要になり、負担。また、**制度の広報不足**。



### 兵庫県・神戸市からも参加

○兵庫県からは、男女家庭室、児童課から、また、ひょうご仕事と生活センターからも出席いただき、両立支援や男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて紹介があり、当日、出された種々の課題について、**持ち帰り各課に申し伝える**旨の発言があった。(神戸市子育て支援部はオブザーバ出席してもらったが、児童虐待防止に特に力を注いでいる旨の報告をいただいた。)

### 県連所属各議員、連合兵庫を代表して

○委員会メンバー始めとする参加議員から、自身も子育てと仕事の両立で苦労した体験などを踏まえ、**今後の活動に活かしていきたい**という発言が相次いだ。連合兵庫女性委員会森脇副事務局長より、女性委員会からの要望があった。①**男女共同参画や子育て支援は、視点によって取り組み方が変わる**。政策が小さくなってしまわないよう、共通の認識を持って取り組んでほしい。②**企業に子育て支援が単にコストとならないよう、税制の優遇や入札面での考慮**など取り入れてほしい。③**地域の子育て支援の施設**は、コストはかかるが子育て支援にとどまらず、地域の活性化にもつながるという観点で。



今後、挙げられた課題を元に、各議員の議会活動や、本委員会の第2弾の活動に活かしていきたいよう、事務局としてもまとめていきたいと思っております。例えば中学校給食の検討や弁当販売の改善など、食育の視点も取り入れて連合と一緒に取り組めないか考えていきたいと思っております。